

安 全 報 告 書

2007年度版

肥薩おれんじ鉄道

この安全報告書は、当社における鉄道輸送の安全の確保のための取組や安全の実態をまとめたものです。ご意見・感想をお寄せ下さい。

1 利用者はじめ地元の皆さまへ

当社の鉄道事業に対して、日頃のご利用とご理解、誠に有り難うございます。当社は、経営理念の第一に安全の確保を掲げ、法令の遵守のもと、安全輸送に努めております。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取組や安全の実態について公表するものです。今後とも安全で安心できる鉄道を目指してまいりますので皆さまからの積極的なご意見を頂ければ幸いです。

肥薩おれんじ鉄道株式会社
代表取締役社長 嶋津忠裕

2 輸送の安全確保に関する基本的な考え方

(1) 安全基本方針

当社の経営理念の第一は、安全の確保です。「安全基本方針」を次のように掲げ、社長以下従業員全員に周知・徹底しております。

- ① 安全の確保は、輸送の生命である。
- ② 規程の遵守は、安全の基礎である。
- ③ 執務の厳正は、安全の要件である。
- ④ 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとる。
- ⑤ 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保する。
- ⑥ 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦する。

(2) 安全目標（2006～2010年度）

区分	項目	内容
定量的な目標	列車事故（衝突・脱線・火災）	5年間、発生させない。
	乗客の死亡事故	乗客の死亡事故を5年間、発生させない。
	踏切の故障に伴う事故	発生件数を5年間で1件以下とする。

(3) 安全目標に対する実績

年度	2004	2005	2006	2007
列車事故（衝突・脱線・火災）	0	0	0	0
乗客の死亡事故	0	0	0	0
踏切の故障に伴う事故	0	0	0	0

3 輸送の安全の実態

(1) 鉄道運転事故

2007年度は1件の鉄道運転事故が発生しました。二輪車を運転中にバランスを崩し踏切内で転倒し、運転者は避難したものの二輪車と列車が接触したものです。

年 度	2004	2005	2006	2007
事故件数	0	0	1	1
死傷者	0	0	1	0
うち死亡者	0	0	0	0

(2) 災害（地震、暴風雨などによる鉄道施設への被害）

2007年度においては、台風の襲来（2回）や梅雨時期の長雨に見舞われましたが、鉄道施設への被害は発生しませんでした。

(3) 輸送障害（30分以上の遅延や運休）

2007年度、30分以上の遅延や運休が発生した輸送障害は、表の通りです。

項 目	件 数	特記すべき輸送障害
自然災害など	12	
設備故障など	2	
第三者障害など	2	

(4) インシデント（事故の兆候）

2007年度、国土交通省へのインシデント報告はありませんでした。

(5) 行政指導等

2007年度、国土交通省からの行政指導はありませんでした。

4 重点安全施策の内容

(1) 重点安全施策

運転士の管理に係わる事項としては、アルコール検知器を導入し、出勤時において検査を実施し酒気帯び勤務の防止を図っています。また、睡眠時無呼吸症候群（SAS）については、自己評価・申告と併せ客観的評価が行える簡易なスクリーニング検査を実施し、健康管理に努めています。

一方、長期に亘る工事施工に当たっては、施工会社と共に「災害防止協議会」を定例的に開催し、施工方法・手順、保護具の着用等について審議して運転事故や労働災害の防止を図っています。

(2) 異常時対応訓練

当社では、輸送や皆さまの安全に役立つように異常時対応訓練を実施しています。2007年度は、技術部門の全系統の社員の参加により、米ノ津駅～出水駅間で車両故障のため列車が動けなくなった事を想定して、故障車両収容の訓練を臨時列車の運転により実施しました。

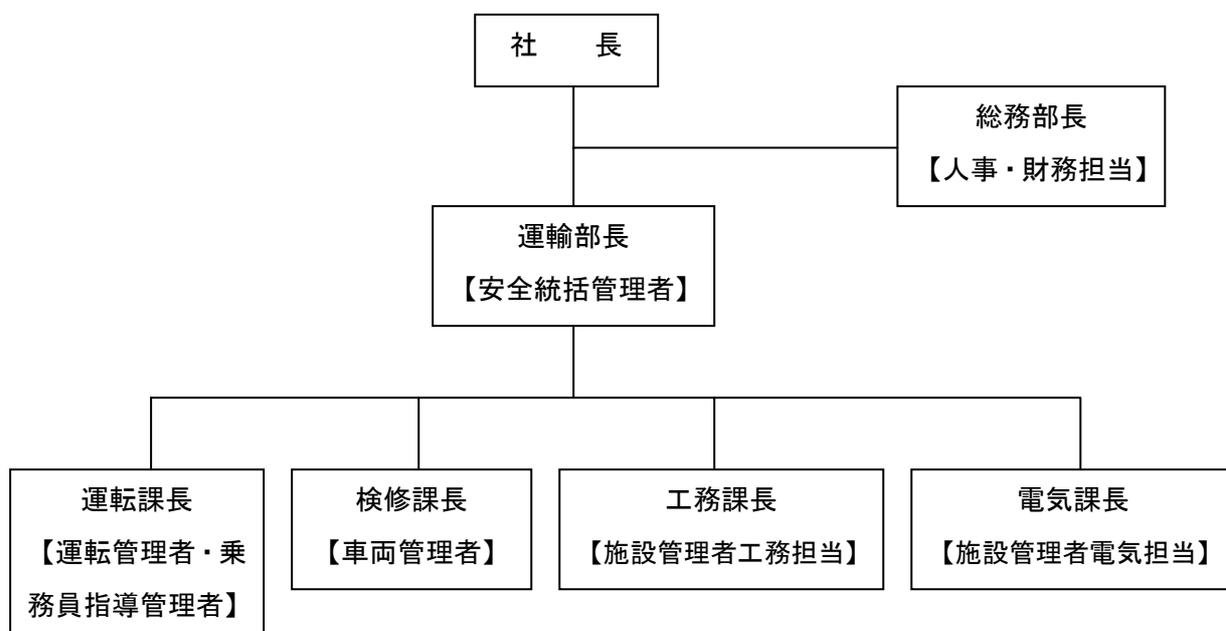
(3) 安全のための支出

安全維持のため、営業収入の39%、営業経費の34%を鉄道施設・車両の修繕費に充てています。2007年度は、約3億1千万円になりました。

5 安全管理体制

(1) 安全管理組織

当社では、社長をトップとする安全管理組織を構築・運用しています。この組織の中で、安全統括管理者、運転管理者、その他の管理者等が、それぞれの責務を明確にした上、安全確保のための役割を担っています。



(2) 各管理者の役割

役 職	役 割
社 長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
運輸部長 【安全統括管理者】	輸送の安全の確保に関する業務を統括管理する。
運転課長 【運転管理者・乗務員指 導管理者】	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項及び運転士の資質の保持に関する事項を統括する。
検修課長 【車両管理者】	安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する。
工務課長 【施設管理者工務担当】	安全統括管理者の指揮の下、施設に関する事項を統括する。
電気課長 【施設管理者電気担当】	安全統括管理者の指揮の下、電気施設に関する事項を統括する。
総務部長 【人事・財務担当】	輸送の安全の確保に必要な設備投資、人事、財務に関する事項を統括する。

6 利用者・地域の皆さまとの連携とお願い

(1) こども110番の駅

肥薩おれんじ鉄道の有人駅は、「こども110番の駅」として地域の子供達を守るための取組を行っています。

〔主旨〕

- ・ 「こども110番の駅」では、不審者（犯人）から逃れるために逃げ込んできたこどもの安全を確保します。また、犯罪発生時のみでなく、日頃から安全への配慮を心がけ、安全な地域づくりに貢献するとともに、こどもにとって楽しく、フレンドリーな駅づくりを目指します。
- ・ 「こども110番の駅」のステッカーを見て、こどもが駅に助けを求めにきた場合、こどもを保護し、こどもに代わって110番通報を行うなどの対応をとります。

(2) 列車妨害防止へのお願い

2007年度、肥薩おれんじ鉄道管内で列車妨害による列車遅れが10件発生しています。その内子供による悪戯と思われる線路への置き石が8件ありました。置き石による列車脱線事故も過去に発生していますので、悪戯による置き石を起こさないように沿線の皆さまのご協力をお願い致します。

(3) 踏切事故防止の一助に

踏切事故防止のために、踏切一旦停止線の現状を調査し、道路管理者である自治体に情報を提供し、整備依頼を行った。その結果、しっかりと整備されて踏切事故防止に役立っています。

7 安全報告書へのご意見に対する連絡先

安全報告書へのご感想、当社の安全への取組に対するご意見をお寄せ下さい。

肥薩おれんじ鉄道お客さまご案内窓口

TEL. 0965-32-5678 FAX. 0965-32-5411

E-mail master@hs-orange.co.jp

■月～金 9:00～17:30 (祝休日を除く)